

令和5年度 福井市日新小学校スクールプラン

学校教育目標

心豊かで自ら学び自ら考えるたくましい児童の育成

目指す学校像

目指す児童像

学びがいのある学校
やりがいのある学校
頼りがいのある学校

- よく考え、進んでやり抜く子
- 人や物に感謝し、協力できる子
- 心身共に健康で、たくましい子
- ふるさとを大切にす子

研究主題

学ぶことを楽しむ子どもの育成
～主体的に学び、対話を通して考えを深める授業づくり～

福井市学校教育方針

「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成」

- ・学びをつなぐ・未来につなげる
- ・「系統性のある学び」「地域に根ざした学び」
- ・子どもの学びを「人・もの・こと」とつなげる
- ・「自分の学校の実践を語るができる教師」

「地域とともに歩み、

未来を切り拓く子どもたち」

- ・授業づくり部会
- ・生き方教育部会
- ・子ども支援部会

児童の実態

- ・明るく、素直で、元気なあいさつができる
- ・自分の考えを持ち、積極的に学び合いに参加できる
- ・高学年が優しく低学年に接することができる

保護者・地域の願い

- ・思いやりがあり、優しく素直な子
- ・自分の考えが持てる子
- ・心身共に健やかな子

教師の願い

- ・笑顔であいさつができる子
- ・自分の思いを表現できる子
- ・思いやりのある子
- ・粘り強く取り組む子

重点目標

確かな学力

- 対話を活性化し、主体的・対話的で深い学びの実現する授業づくり
- ICTの有効活用を研修し、学びをつなぐ教育活動の推進
- 読書活動の推進

豊かな心

- キャリア教育を推進し、夢や希望を育む教育の推進
- 一人一人の個性や良さを認め合う温かい集団づくり
- 異学年やペア学年の交流で、子どもと子どもをつなぐ活動の充実

健やかな体

- 規則正しい生活習慣の定着と健康な体づくり
- 家庭とつなぐ情報モラル教育の推進
- 危機管理体制の構築と危険回避能力の育成

家庭・地域との連携・協働

- 保護者や地域と連携した学校づくり
- 地域の教育資源を活用した教育活動の推進
- 家庭・地域との子どもの成長への取組を共有

具体的な取組

- ・対話を活性化させ、深い学びを実現するための授業研究を行う。
- ・理科と生活科を中心とした教師協働による授業実践と授業研究を行う。
- ・一人一台のタブレットを活用した研修会を実施し、家庭と学校とをつなぐ学びを推進する。
- ・学校司書と連携し、読書に親しむ工夫した読書活動を推進する。

- ・アントレキッズや連携授業を充実し、夢や希望を育む教育を行う。
- ・個性や成長を認め合う学級づくりを推進し、自己肯定感を育む。
- ・縦割り班活動、ペア学年合同授業等を行い、温かい人間関係のある集団づくりを行う。
- ・いじめや人権に関するアンケートがかりな児童の情報交換を行い、未然防止、早期解決をする。

- ・「早寝、早起き、朝ご飯」や挨拶活動を推進し、生活習慣の定着を図る。
- ・運動量のある学習や活動を推進し健康な体づくりにつなげる。
- ・情報モラル教室を実施し、スマートルールの定着を図る。
- ・健康教育や食の安全の推進、交通安全教室、防災訓練を実施し、危険回避能力を育成する。

- ・対面型や ICT を活用した授業や教育活動の公開を工夫し、ハイブリッド型の学校公開を実施する。
- ・地域の教育資源や人材を活用した教育活動を工夫し、地域への愛着や誇りを育てる。
- ・毎月の学校便りや学年だよりの発行、毎週 HP の更新を行い、教育活動や運営状況の情報発信を行う。

<数値目標>

- ・学校が楽しいと感じる児童 93 %
- ・授業中、対話や「かえるタイム」で学びが実感できる児童 80 %
- ・タブレットが学習に役立つと考える児童 90 %
- ・図書貸出一人平均 70 冊以上

<数値目標>

- ・将来の夢やめざす目標をもっている児童 90 %
- ・集会活動等で友だちのことを考え行動ができる児童 90 %
- ・いじめを止めるために行動できる児童 80 %

<数値目標>

- ・時間の決まりなどをしっかり守って生活している児童 90 %
- ・体育の時間や休み時間などしっかり運動する児童 90 %
- ・安全面について適切に指導していると答える保護者 80 %

<数値目標>

- ・教育活動を十分公開していると感じる保護者 90 %
- ・総合の時間は地域のことを調べて楽しいと感じる児童 90 %
- ・子どものことで気軽に相談できる保護者 80 %

【業務改善への取組】

- ・終礼は月曜（週 1 回）
- ・掲示版や Teams 活用による情報共有
- ・教材資料の共有化
- ・教育 DX 化による学校運営や会議の効率化
- ・IC カード活用によるタイムマネジメント
- ・午後 7 時までの退勤の励行